

# 単元内自由進度学習から考える「子どもを主語にした個別最適な学び」セミナー 実施要項

## 1 目 的

学習指導要領では、これからの学校教育に、一人一人の児童生徒が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることなどを求めている。主体的・対話的で深い学びを実現するために、『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～すべての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現』（答申）（中教審第228号）において、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実が掲げられた。そこでは、児童生徒が「学習の目標や教材について理解し、計画を立て、見通しをもって学習し、その過程や達成状況を評価して次につなげる」ことや、教師が「学習の進め方（学習計画、学習方法、自己評価等）を自ら調整する力を身に付けさせることを一つの柱として行う」ことの可能性が指摘されると共に「多様な学習の進め方を実践できる環境を整えること」の重要性が指摘されている。

これらのことを実現していく一つの方法として「単元内自由進度学習」を取り上げ、子どもを主語にした個別最適な学びの在り方の理解と実践意欲の向上を目指す。

## 2 主 催 独立行政法人教職員支援機構

## 3 期 日 令和6年1月15日（月） 9:10～16:45

## 4 実施方法 Web 会議サービスを用いた同時双方向通信によるオンラインセミナー

## 5 参 加 者

- (1) 参加対象 小学校、中学校、高等学校、義務教育学校、中等教育学校に勤務する教職員及び教育行政関係者のうち参加を希望する者
- (2) 定 員 240 名
- (3) 参 加 費 無料
- (4) 参加手続

参加者については、原則として教職員支援機構ホームページより先着順で参加の申込みを受け、教職員支援機構が決定する。

申込みは11月24日（金）10:00 から先着順で受け付け、定員に達し次第受付を終了いたします。

詳細につきましては下記 URL より当機構ホームページをご覧ください。

【独立行政法人教職員支援機構ホームページ】

<https://www.nits.go.jp/training/seminar/018.html>

## 6 日程表

8:40～9:10

受付

9:10～9:30

イントロダクション

9:30～10:00

【講義】

「子どもを主語にした個別最適な学びを考える上での論点整理」

奈須正裕 氏（上智大学教授）

10:00～10:10

休憩

10:10～11:00

【コース別講義・演習・協議】

子どもを主語にした個別最適な学びを目指し、私はどうするか

基礎・発展1・発展2の3コースから選択

「7 コース選択の手引き」を参照の上選択

コース	内 容
基礎	「単元内自由進度学習の実際について実践者から聞いて学ぶ」 （廿日市市立宮園小学校、東浦町立緒川小学校） コーディネーター：教職員支援機構職員
発展1	「自身の単元内自由進度学習の実践を語り合い、在り方を探る」 （参加者自身の実践を紹介しあい学び合う） コーディネーター：藤本勇二氏（武庫川女子大学 准教授）
発展2	「個別最適な学びの在り方について考えを語り合う」 （個別最適な学びの在り方について参加者同士の考えを語り合う） コーディネーター：教職員支援機構職員

11:00～11:10

休憩

11:10～12:00

【対談】

「子どもを主語にした学びの在り方について語る～個別化、個性化と探究～」

奈須正裕 氏（上智大学 教授）、荒瀬克己（教職員支援機構 理事長）

12:00～13:00

休憩

13:00～16:00

【コース別講義・演習・協議】自身の学びやすさから学ぶ

シンポジウムと演習の2コースから選択

「7 コース選択の手引き」を参照の上選択

コース	内 容
シンポジウム	シンポジウム：「単元内自由進度学習から学ぶこと」 登壇者：廿日市市立宮園小学校、東浦町立緒川小学校 聞き役：佐野亮子 氏（東京学芸大学 講師）
演習	演習：「どの子も自分で学べる単元にするための教材研究の演習」 指導助言者：伏木久始 氏（信州大学 教授）、藤本勇二 氏（武庫川女子大学 准教授） ※作成に必要な資料等の準備

16:00～16:45

リフレクション・クロージング

## 7 コース選択の手引き

コース選択に当たっては、次のことを参考に、事前に参加するコースを選択してください。

### (1) 午前のコース別講義・演習・協議 (10:10~11:00)

基礎	個別最適な学びや単元内自由進度学習に興味・関心を持ち始めた段階であり、実際の実践等についての知識を得るコース
発展 1	個別最適な学びや単元内自由進度学習について学び、実践への一歩を既に踏み出しており、実践する上で感じた成果や悩みを共有し、知識を深めるコース 【準備物】御自身の御実践を紹介する際に必要な物
発展 2	個別最適な学びについて学び、普段から問題意識をもって考えており、俯瞰して個別最適な学びの在り方について見つめなおすコース 【準備物】御自身のお考えや御実践を紹介する際に必要な物。

### (2) 午後のコース別講義・演習・協議 (13:00~16:00)

シン ポジ ウム	<p>登壇者からの情報提供を受けて考えをまとめ、討議を重ねる学び方が御自身の学び方に合っていると感じる方が選ぶコース</p> <p>流れのイメージ</p> <p>① 40分 (20×2) 登壇者基調提案</p> <p>② 30分 登壇者討議</p> <p>③ 15分 質疑応答</p> <p>④ 20分 グループセッション (議論したい問いづくり)</p> <p>⑤ 15分 休憩</p> <p>⑥ 40分 問いを基に進行</p> <p>⑦ 20分 佐野亮子氏による解説</p>
演習	<p>具体的に実践に落とし込んで考えることで、単元内自由進度学習の指導方法について学ぶと共に、その過程で実践者が大切にしている価値観について考えることが御自身の学び方に合っていると感じる方が選ぶコース</p> <p>① 演習の流れの説明 (20分) 伏木久始 (信州大学 教授) 氏</p> <p>② 演習 (160分) 指導助言者: 伏木久始 (信州大学 教授) 氏、藤本勇二 氏 (武庫川女子大学 准教授)</p> <p>【準備物】作成しようとする教科の学習指導要領解説、教科書、資料など手引きを作成する上で参考になる物</p>

## 8 その他

- (1) 本セミナーでは、Web 会議サービス「Zoom ミーティング」((株) Zoom ビデオコミュニケーションズ)を用いて同時双方向通信を行う。受講に当たっては、当該ソフトウェアのインストールや安定したインターネット通信環境の確保の他、相互に音声・映像をやりとりする協議等ができるよう、音声マイク・Web カメラ等の必要機器を備えた端末を、1 人 1 台準備すること。
- (2) Web 会議への参加方法等の詳細については、受講者決定時に通知する。